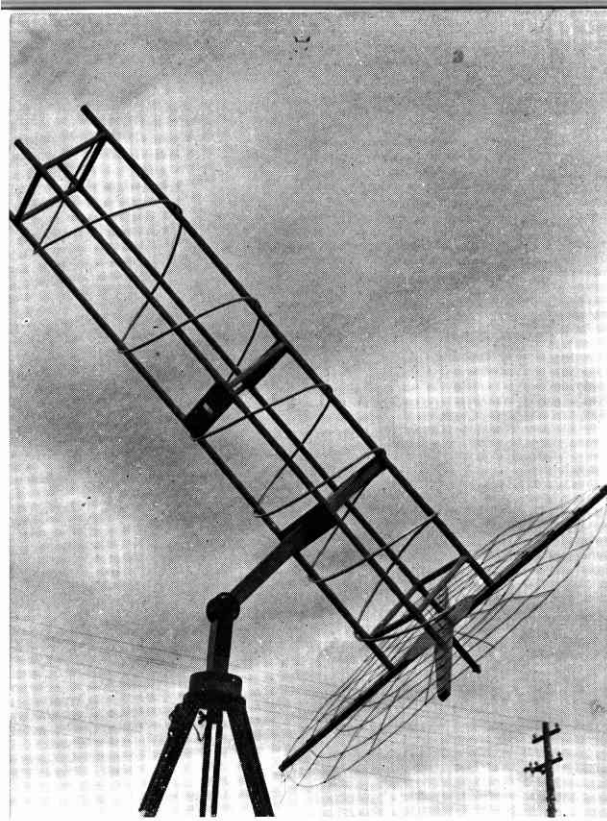


テレメータ受信設備

128 J-T, 128J-TR 各型の実験
性能をテレメータにより計
メータ装置およびレーダ
て、昭和31年12月3日
県道川実験所で行わ
際用いた各種機器

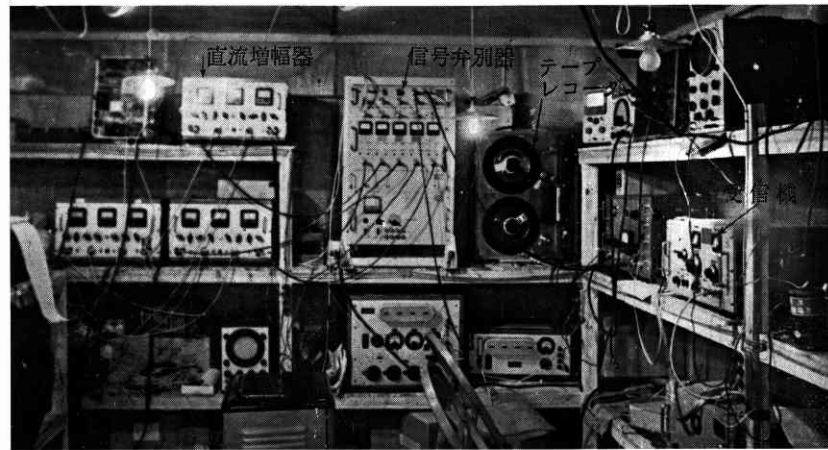


◁ 225 Mc/s テレメータ用ヘリカル・アンテナ



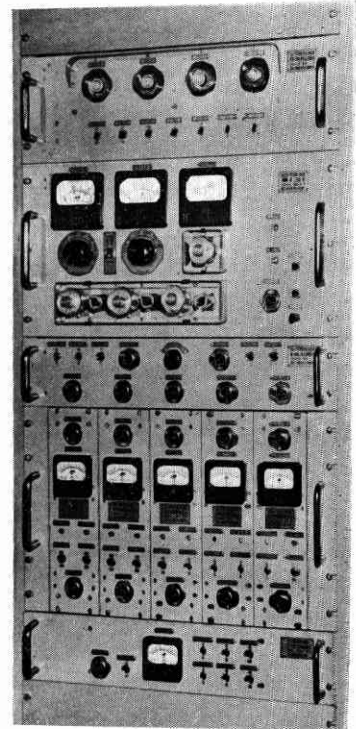
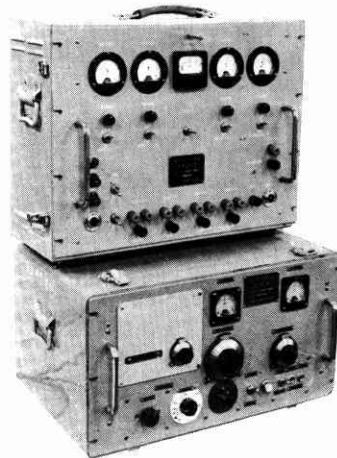
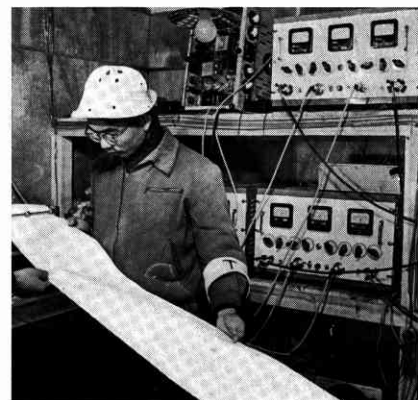
⇒ テレメータ受信室

ロケット・アンテナの指向性の関係で、ラン
チャーの南約 2 km の砂丘の上に建てられた



⇐ テレメータ受信室内部

⇓ 記録装置 直流増幅器とインク書き
オシログラフ

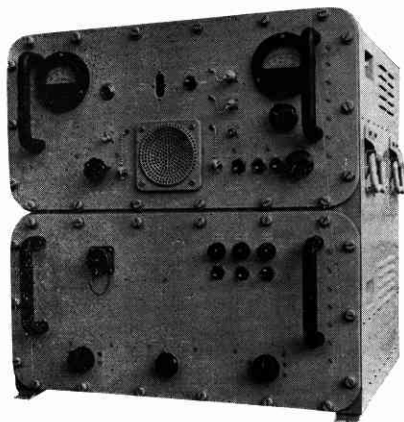


⇐ 3型テレメータ受信機および
5ch. 信号弁別機

⇐ 2型テレメータ受信機 (下)
4ch. 信号弁別機 (上)

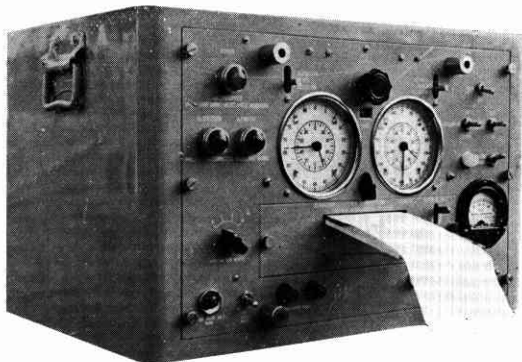
レーダ受信設備

は、カップ型ロケットの飛しょう
測すること、IGY本観測用テレ
装置の実用試験の目的を兼ね
から13日にわたって、秋田
れた。以下の写真はその
を示すものである。



⇩ レーダ受信機 (上)
空中線制御装置 (下)

⇨
レーダのパラボラ・
アンテナは計測室前
の砂上においた。位
置はランチャーなな
め後方に当る。



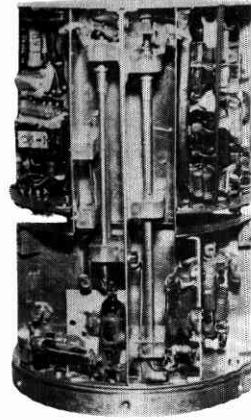
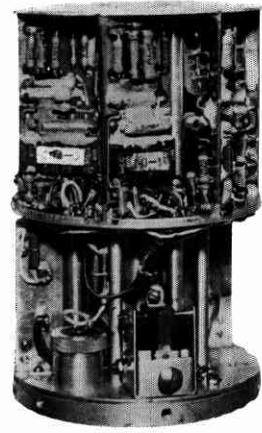
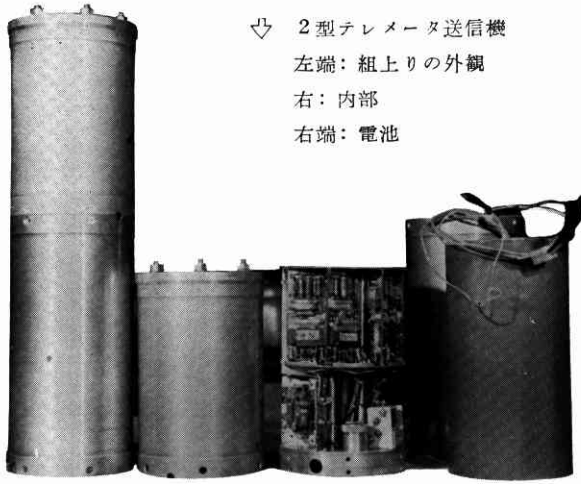
⇨
レーダ角度記録器



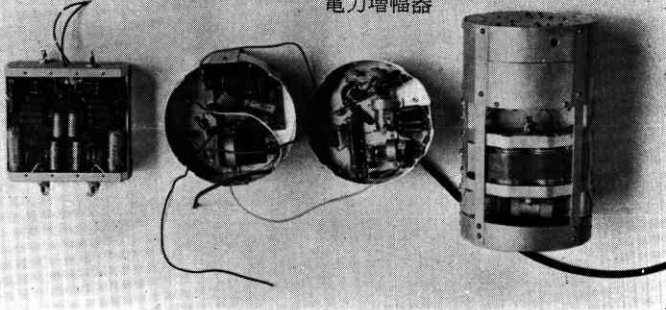
⇨ 計測室内部
手前右が受信機
および空中線制
御器。奥は司令
所で通信連絡設
備が見える。

ロケット空中線

▽ 2型テレメータ送信機
左端：組上りの外観
右：内部
右端：電池

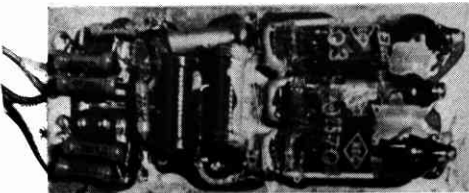
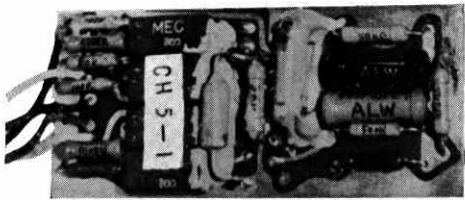


副搬送波発振器 変調器 RF発振器
電力増幅器 外観



△ 3型テレメータ送信機

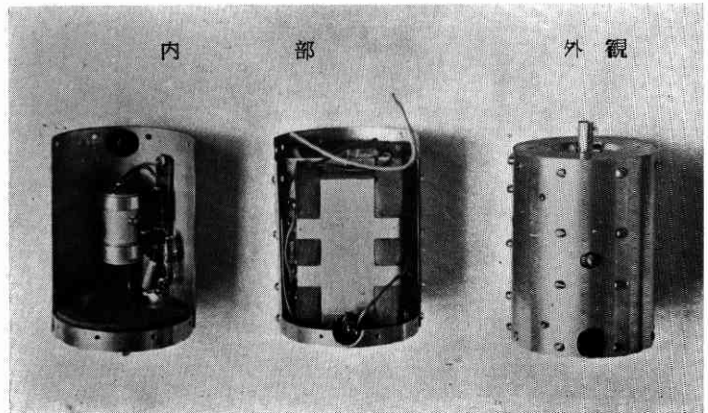
△ 2型テレメータ送信機内部



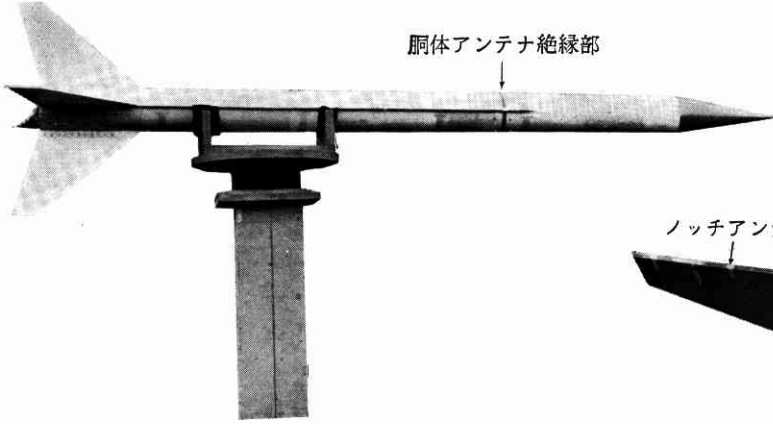
△ 2型テレメータ送信機
副搬送波発振器

▽ レーダ用送信機

内 部 外 観

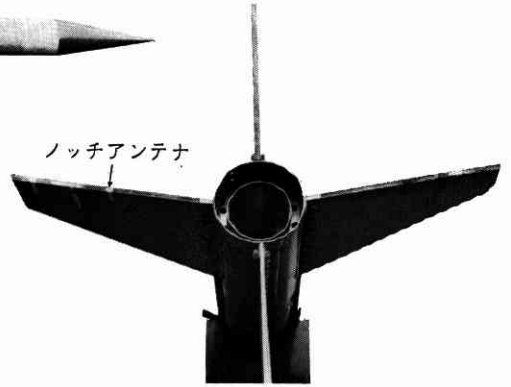


ロケット搭載送信機



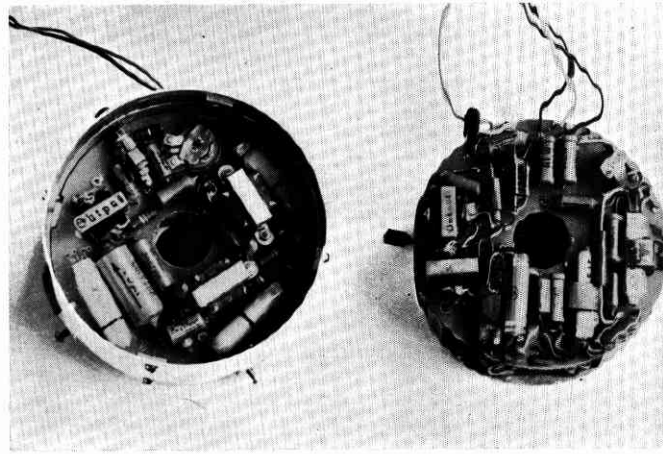
⇩ 128 J-TR 5号機

⇩ レーダ用ノッチアンテナ

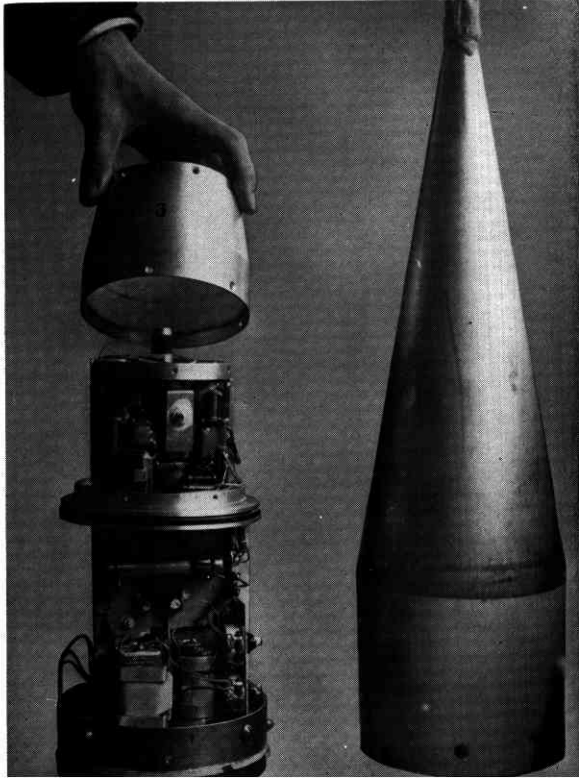


計 測 器

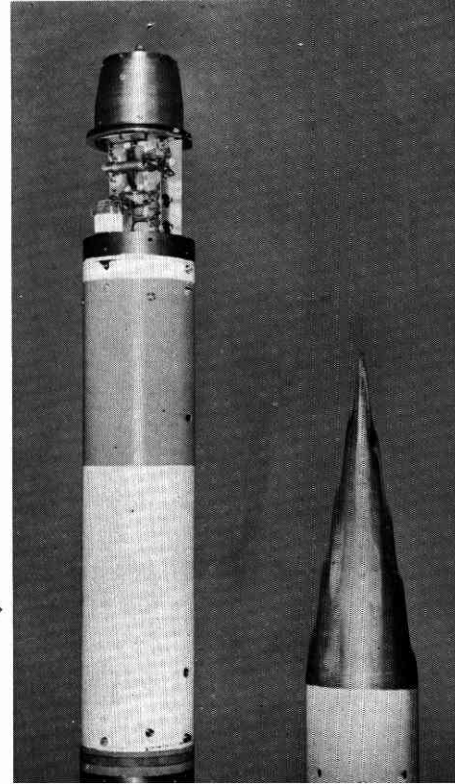
⇨
左: 白金温度計
右: 翼歪計



⇩ 左上: P_1 気圧計 左下: X_1, X_2 加速度計
右: ノーズ・コーン



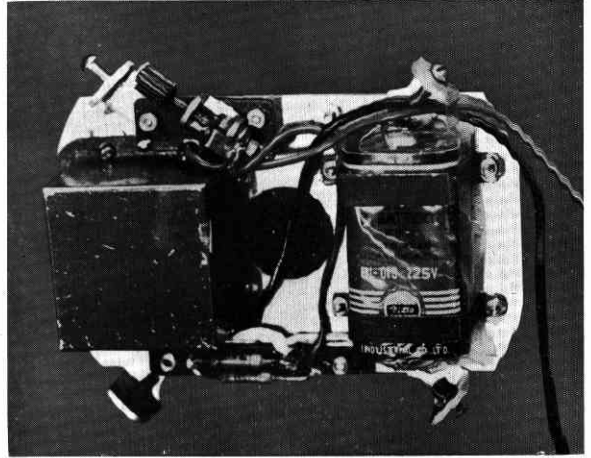
⇨
4号機胴体および頭部



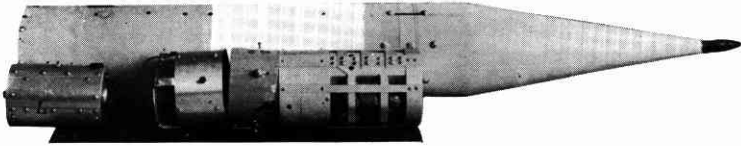
計 測 器



⇩ 計測器とテレメータの組合せ試験



⇩ 横方向加速度計

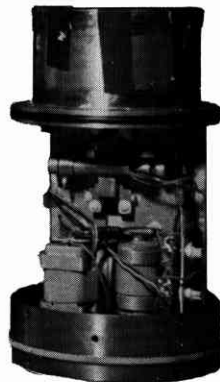
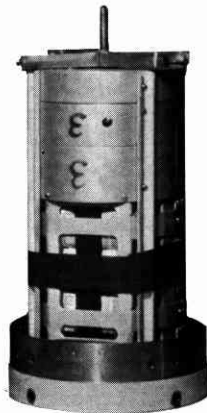
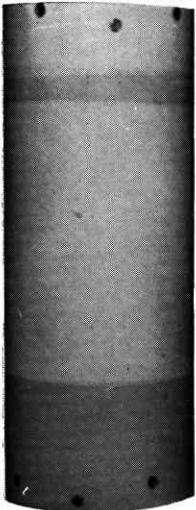
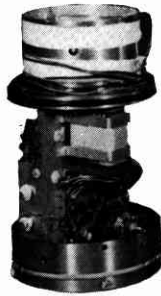


⇩ 5号機内部

右よりテレメータ送信機、
歪、温度、横方向加速度計
およびレーダ送信機

7号機用計器 ⇨

左上: 白金温度計
左下: X_1 , X_2 加速度計
中: フューズ温度計
右: ロケット頭部



⇩ 7号機内部

左よりロケット胴部、
レーダ送信機、
テレメータ送信機、
白金温度計および
 X_1 , X_2 加速度計

カッパ 128 J-TR ロケット用光学的追跡装置群



⇐ 発射瞬間標示用閃光電球取付作業 (中央) とランチャー直前のロケット弾道撮影用固定カメラ (左) 右端はランチャー

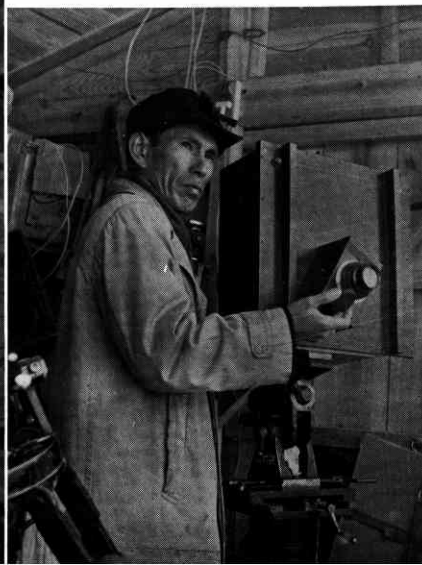


⇐ 高速度撮影装置 (ランチャー南方 300m の高速度カメラ室)

左: 16mm プリズム式 Fastax 高速度カメラ 100mm レンズ使用、撮影速度 2000 コマ/秒
右: 35mm Bell & Howell 高速度撮影機、180mm レンズ使用、撮影速度 100 コマ/秒、露出 1/2,000 秒

⇐ 追跡撮影用装置 (ランチャー南方 300m の高速度カメラ室)

800mm 超望遠レンズ付 ミッチェル 35mm 撮影機と 250mm レンズ付 パルボ撮影機を同一架台にのせ追跡を行う。



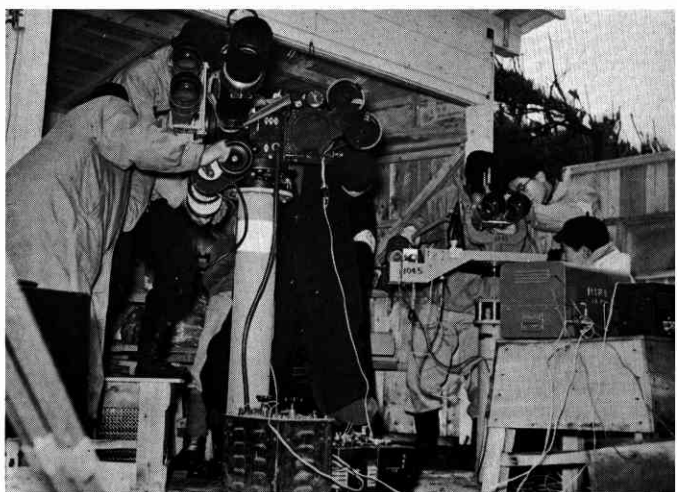
⇐ 南観測点光学的追跡装置 (ランチャー南方 4km の地点)

左: 800mm 望遠撮影機付追跡装置
右: 15 倍双眼鏡手動追跡装置



⇐ ロケット弾道撮影用固定カメラ

(ランチャー直前)
150mm, 50mm レンズ付 35mm 撮影機 2 台をランチャー直前 4m の位置にランチャー発射角と平行に光軸を固定し、ロケット弾道を後方より撮影する。撮影速度 20 コマ/秒、露出時間 1/400 秒。



⇐ セクタ・フレーム・カメラ

(ランチャー南方 300m の高速度カメラ室)
ロケット軌跡撮影用として考案試作した固定カメラで、直径 350mm の円形フィルムに放射状に連続 100 コマ扇形画面を撮影する。180mm f 4.5 レンズ使用、25 コマ/秒の撮影速度、1 コマの露出時間 1/1,250 秒。

カ ッ パ 128 J-TR 7 号 機 の 発 射 瞬 間

800 mm 超望遠レンズ付 35 mm ミッチェル追跡用撮
影機で撮影，撮影速度 20 コマ/秒，露出時間 1/400 秒

